

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人大和しらかし会 児童発達支援事業みらい			
○保護者評価実施期間	令和6年9月2日		～	令和6年10月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数)	14名
○従業者評価実施期間	令和6年9月18日		～	令和6年10月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年11月19日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢の幅を広げ、早期の受け入れが可能な体制づくりをしている。	低年齢児クラス(主に2歳児)を設置し子育てのむずかしさや不安に直面しているご家族を支えていけるよう様々な提案ができるよう努めている。	わが子とどのように向き合えばよいかわからない家族に子育ての希望、たのしさを見つけていけるようしっかりと寄り添い支援していく。
2	体の発達に不安があるお子さんの受け入れが可能な体制づくりをしている。	理学療法士を配置できるグループを設定し、体の使い方や積み重ねていくとよいあそびや動きの提案をしている。	理学療法士の配置を継続していき、理学療法士が立案するプログラムの展開など家庭につなげて実践できることを増やしていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ワンフロアの限られたスペースで運営しているため、活動内容や参加人数によりせまくなることもある。		活動ごとに(朝の支度、個別課題、あつまり、主活動など)場所の設定をし子どもたちの動きがわかりやすくスムーズになるよう工夫している。
2	午前中は児童発達支援事業、午後からは送迎を実施する放課後等デイサービスの事業を行っているため、職員個々で動きが異なるので共有できる時間の確保がむずかしい。		午前中の振り返りは時間を決め休憩時間が確保できるようにし、記録等の事務処理も時間の目途の中で終了し職員会議や日々の準備時間がとれるよう意識して行っている。時間の確保は職員ひとり一人の意識と決められた時間内で事務処理を終了させる力がとても大切であると考えているので個々のスキルの向上に努めていきたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人大和しらかし会 児童発達支援事業みらい

公表日 R7年 1月 15日

利用児童数 24名

回収数 14名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	3	1		もう少し広くてもいいのかなと思います。	定員を6名までとし、限られた空間の中でもやることがわかりやすくなるようパーテーションの使用や活動（シール貼り、集まり、水分摂取など）に応じた場所の固定を工夫しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	1				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13			1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	3			ただ月末に行われるリズムあそびは固定なのでときは変えてほしいなと思います。	リズムあそびは計画的に毎月行い、くり返し経験することでやるのがわかり、安心して意欲的に参加できるようになることをねらっています。内容はときどき新しい曲目を入れて変化にも対応できる経験をしています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6		6	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13			1		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2				
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	1	7		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1	1	毎週何かあったことや困ったことを相談できる。	保護者の方が話をしやすい雰囲気づくりを心がけています。なるべくその日により提案ができるよう努めています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	3	6		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	3	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	5	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13		1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	2	1	まだ本人の思いをはっきり知ることができませんが、行くと活動には楽しんで取り組んでいると思います。	「たのしそう」「やりたい」「できた」の流れで子どもたちが意欲的に参加して自信につながっていくことを目指しながら今後も取り組んでいきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14			子どもだけでなく親も毎週たのしく通っています。	家庭では気づかなかったことを見つけたり、わが子の新しい一面の発見の場として、どんな小さなことでも共有してよるこびをわかち合う事業所でありたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人大和しらかし会 児童発達支援事業みらい				公表日	R7年 1月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	パーティションを活用しそれぞれの活動場所人設定している。子どもたちにわかりやすい銅線を確保している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		やることごとに場所の設定をしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		大型の空気清浄機を設置。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員会議を月二回実施。	曜日固定で職員が変わるため、なるべく全員が出席できるようにしたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		本人の希望も踏まえてなるべく参加できるように努めている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		職員会議にて立案。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		継続することで自信を持って参加できることを狙い、リズム遊びは毎月プログラムに入れている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		流れの手順、担当の子どもの確認のほかに、災害時の職員の動きの確認も毎日行っている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		振り返りと次回に向けての確認とヒヤリはっとの確認を行っている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			記載に時間がかかりすぎないよう時間を意識して大切なことを簡潔に記載するように心がけている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2			
	28	(28～30は、センターのみ回答)	/	/	/	/	/
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	/	/	/	/	/
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	/	/	/	/	/
	31	(31は、事業所のみ回答)	/	/	/	/	/
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		ほとんどの利用児が保育園、幼稚園との平行利用をしているので在籍園での経験で交流することはできている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			親子利用の中で保護者と十分な確認ができるように意識して関わっている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			子どものよいところを見つけて記載する取り組みを保護者に依頼している。記載に対してコメントを記入し翌週に返している。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7					
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			毎回の利用の時に確認した事項も含め情報とし、作成前には必ず面談を行っている、		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			毎回の利用児の中で応じている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4			
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7				
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2			今年度法人のまつりが年ぶりに開催された。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7				
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7				
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7				
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7				毎日の振り返りで確認している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7				虐待防止委員会の開催、不適切チェック表の記入など定期的に行っている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7					

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人大和しらかし会 放課後等デイサービス みらい			
○保護者評価実施期間	令和6年9月2日		～	令和6年10月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	令和6年9月18日		～	令和6年10月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年11月19日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育支援、生活支援、機能訓練の3つのサービスが提供できる体制づくりをしている。	療育支援では年間計画の中で運動・音楽・調理・外出の活動を主に行っている。生活支援は看護師を配置し医療的ケアの対応や送迎車同乗により気管切開をしているお子さんの送迎も行っている。機能訓練は理学療法士を配置し、個々の必要な頻度に応じて行っている。	3つのサービスを継続していき、充実した放課後を過ごすことができるよう努めていく。
2	肢体不自由児の受け入れに特化し、医療的ケアが必要なお子さんも積極的に受け入れている。	生活支援ではひとり一人の体の状態を把握し無理なく安心して過ごすことを大切にしている。食べることも自分でできることの一ひとつとして大切に、丁寧に取り組んでいる。	できることはさらに意欲的にできるように、むずかしくなってきたことは今の状態が少しでも長く続くことを目指しながら「今日もたのしかった」と感じる場であり続けていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	限られたスペースでの運営のため、年々体と車椅子が大きくなっていく子どもたちにとってせまく感じることは多々ある。		曜日ごとに子どもたちが過ごしやすいよう環境の設定を変え、動線がとれる工夫をしている。順番に散歩に出かけたり音楽を聴いたりそれぞれの子どもたちがストレスなく過ごす流れをたくさん考えていく必要がある。
2	時間の使い方については児童発達支援事業と同様。		午前中の振り返りは時間を決め休憩時間が確保できるようにし、記録等の事務処理も時間の目途の中で終了し職員会議や日々の準備時間がとれるよう意識して行っている。時間の確保は職員ひとり一人の意識と決められた時間内で事務処理を終了させる力がとても大切であると考えているので個々のスキルの向上に努めていきたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人大和しらかし会 放課後等デイサービス みらい

公表日 R7年 1月 15日

利用児童数 24名

回収数 14名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	5	1	1	・もう少し広いスペースあるといいですね。 ・狭いかなとは思いますが、過ごし方を工夫してくださっているので満足している。	年々利用児の体とともに車椅子やバギーも大きくなっています。曜日ごとに過ごしやすいフォーメーションを考えて限られたスペースを活用しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12			1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11			2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13					
保 護 者 へ の 説 明	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	3	6	・なくてよいと思います。 ・健常者とのあそびが違うのでこのまま で良い。	散歩で公園に行く他の子どもたちもいますが積極的に関わることは目的にしておらず、利用児が心地よく無理なくできることを大切にしています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	1	2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	2	4		

等	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1		1	相談や申し入れをしたことはありません。	車両での送迎が主になってきているので保護者とのやりとりの時間も限られていますが、連絡帳に記載されたことで返答が必要なことについてはその日のうちに記載してお返しし、必要に応じて電話での対応もしています。保護者の方から何らかの形で届いたことには迅速に対応しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	2	1	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1		4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1	1	5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			1	事故等が発生したことはありません。	なるべく事故は起こらないように努めていますが発生した場合は保護者への連絡、報告説明は迅速に行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13					
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				入浴があればさらによい。	子どもの成長とともに入浴サービスのニーズが高いことは承知しています。みらいではひとり一人に今必要なことを提供することを大切にしています。特に体へのアプローチはとても意味があることで、おやつを食べる時間も大切に、ひとり一人と関わっています。この時間がとても意味のあるものだと思っているので、今提供していることより入浴サービスが必要と事業所で判断したときはしっかり検討していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
社会福祉法人大和しらかし会 放課後等デイサービス みらい		R7年 1月 15日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	4	体の成長とともに車いすやバギーも大きくなっていくので曜日によりマットの位置やテーブルの位置を変え動線が確保できる工夫をしている	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		玄関の出入り口には車いすで安全には入れるようスロープの設置をしている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		大型の空気清浄機を設置	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	パーテーションを活用して実行。おむつ交換時もひとりずつ囲いをし保護しながら交換している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		アンケートの配布や支援計画作成の面談で確認している	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員会議の実施	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		なるべく参加できるようにしている	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		常に確認できるよう簡単にまとめたものを机上に設置	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			肢体不自由児の受け入れなので学校からの引継ぎ、その日の体調や家庭からの連絡帳の内容の共有でお子さんの状態を把握している	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		各自ストレッチや姿勢管理など行うことがあるためそのことを中心にすることとおやつのお取り分けを丁寧に行っている	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	送迎時間もあるため全員で行うことはむずかしく簡単な確認になる	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	支援終了後というより何か生じた時点ですぐ声に出して確認をするようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	みらいでの活動中に意図的に行うことはしていない	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	子どもとの関わりというより今後体が大きくなっていくわが子に対し、様々なサービスの利用の相談が多いので相談支援員と連携しながら提供できることを見つけている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	3		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		課程と連携を取りながらあやまちのないよう努めている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止委員会、不適切チェック、リーオンミーの研修などの中で確認している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		座位保持椅子にベルト、テーブル設置をしている利用児を対象にしている		